佛教大学見学感想

今週の火曜日、京都の佛教大学を見学しました。

佛教大学に着いて、たくさんの大学生はリュックを背負う姿を見て、数ヶ月前の大学生活に戻ったようです。音窪さんが私たちを迎えに来て、簡単な自己紹介をした後に、案内していただきました。

最初は、学校の一番新しい建物に入って、可愛いキャラクターを見ました。これは学生がデザインしたキャラクターと音窪さんが説明しましたので、学生たちの創造力を感服しました。続きまして、お酒を見ました。この酒は佛教大学オリジナル日本酒「佛米夢乃酒」です。佛教大学の酒造りについて、大学生は春学期にお米とお酒の文化を学び、美山での田植え、草取り等の農作業を体験します。秋学期は、お酒の醸造体験、販売などを学びます。講義と体験を通して、働くことの意義や役割を理解し、社会人としての能力を身につけ、課題解決できる資質を身につけるキャリア形成を目標としていることをお酒のパンフレットを読んで分かりました。

2 階は教職員の事務室、コンピューター室、休憩スペース等があります。PC利用スペースもありますので、学生はそこで無料のインターネットを利用して、学習していました。机と椅子、ソファーはもちろん、畳みもありますので、学生はリラックスで本を読んだり、音楽を聴いたりすることができ、最良の学習環境を学生たちに提供しています。

3階以上は授業教室、実験室があります。授業中なので、真剣に授業を受けてメモを取っていた学生の姿が見ました。実験室の外に岩石のコレクションが展示されています。また、各教室には来学期からGAKUENの出欠端末を使用し始めることを音窪さんから聞きました。今までの出欠は紙運用していますので、出欠端末を使用したらとても便利です。

建物を出て、廊下の展示ケースには佛教大学発行の佛大新聞を見ました。UNIPA本番稼動のニュースが掲載されています。私は今UNIPAを勉強していますので、とてもうれしいです。

その後は礼拝堂に行きました。一番の前に仏像があります。そして、何列かの座席が並べて、毎朝、人々が参拝する姿が想像できます。また、マイクを使って、ここでの詠唱も全キャンパスが聞くことができて、とても素晴らしいと思います。

学校内の書店も行きました。 文房具や雑誌、専門書だけでなく、漫画もありますのでとても便利です。その近くには図書館があります。残念ですが、学生証がないと入館できないです。キャンパスにはバス停があり、それを利用して、他のキャンパスにも行けます。また、一緒に食堂でご飯を食べました。

今回の佛教大学の見学を通して、日本と中国の大学の違い、また日本の大学の雰囲気を感じました。良い環境で学ぶことは良い発見ができることだと思います。私の経験と知識も増えたと感じています。